

一般質問から

平成25年第3回定例会の一般質問は、8月7日、8日、9日の3日間にわたり、13人の議員が38項目の質問事項について、市の見解を求めました。ここでは、各議員の主な質問と、それに対する市の見解を紹介いたします。

なお、詳しくは、10月下旬に更新予定のホームページをご覧ください。

※議員名の上の番号は、議席番号を示しています。
(注)議長、副議長及び監査委員の職に就いている議員は、先例により、一般質問は行っておりません。



小学校での「いのちの授業」の実施について

Q 昨年、八條中での小中一貫教育研究発表会で助産師による感動的な「いのちの教育」を参観し、今年6月には大瀬小で6年生と保護者対象の「いのちの授業」も参観した。

この授業は、市内全中学校では実施されているが、小学校ではまだ少数と聞いた。

いじめによる自殺者の報道が後を絶たない中、市内全小学校で「いのちの授業」を実施することについて伺う。

A 小学校での「いのちの授業」については、PTAの協力等により、既にいくつかの



3番 矢澤 江美子

小学校で開催している。開催後の児童の感想文を見て大きな成果があると認識していることから、市内校長連絡協議会等の関係機関と協議の上、検討してまいりたい。

小中一貫教育について

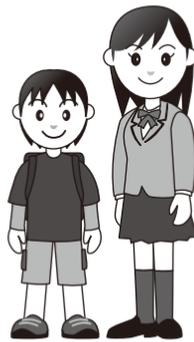
Q これまでの成果と今後のお考えについて。

A 「具体的な成果」としまして、学力の向上では、平成18年度、小中学校ともに県平均を下回っていた基礎学力が、平成21年度以降、県平均を上回り始め、平成24年度には達成率が97%を越えました。また、豊かな心の育成では、基本的生活習慣等の定着とともに、不登校生徒は、平成18年度の161人が、平成24年度には46人と大幅に減少いたしました。

「今後の考え」につきましては、基礎学力を応用・活用し判

7番 宇田川 幸夫

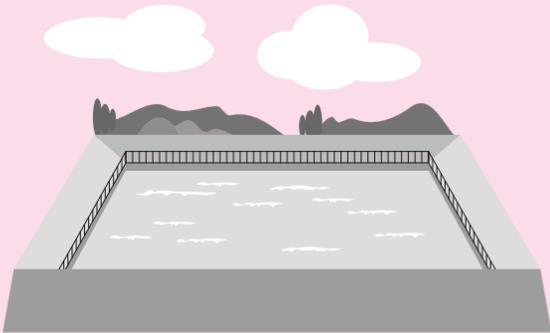
断していく力を高めること、家庭での学習習慣を身に付けること、いじめ・不登校の発件数件「0(ゼロ)」にすることを目指して、学校、家庭、地域の力を結集し、児童生徒に寄り添った小中一貫教育の一層の充実・推進を図ってまいりたいと存じます。



調整池について

Q 大字伊勢野の調整池について、風向きによっては非常に調整池の水が臭く感じますが、対策についてお伺い致します。

A 都市再生機構では、臭気の原因としては、地区内工事に伴う土砂を含む水が、調整池の底面に流入し、滞留していることが、臭いの要因であると考えているとのこと。今後の対策としては、調整池の水を抜き、土砂の除去を行うことで、対応してまいりたいとの回答をいただいているところでございます。



13番 小倉 順子

いじめ対策について

Q 本年6月21日に、「いじめ防止対策推進法」が成立しました。

この新法の成立を踏まえ、市教育委員会及び学校の対応について伺います。

A わが国で初めて、いじめ対策が法制化された「いじめ防止対策推進法」は、いじめ対策組織の設置、いじめ防止の具体的な措置及び重大事態が発生した場合の報告などを学校やその設置者に義務付けております。また、道徳教育等の充実や相談体制の整備が義務づけられるとともに、インターネットを通じて行われるいじめへの対策が盛

12番 戸川 須美子

り込まれております。市教育委員会では、平成18年に「いじめ撲滅三原則を訴える緊急アピール」の作成・周知、さわやか相談員の配置など、これまで、学校と共に様々な対策に取り組んでまいりました。現在、文部科学省では、この新法に基づき「いじめ防止基本方針」の検討・作成中であると伺っておりますので、市教育委員会といたしましては、国や県の取組みに注視しながら、いじめの根絶に取り組んでまいります。

交通安全対策について

Q 産業道路の大曾根地域、アイ・カフェ八潮店前に押し信号機がありますが、少し北側の市道4073号線・市道5107号線の交差点に移設した方が活用されると思います。草加警察と話し合うべきではと考えます。

A 今後、市といたしましては、県道越谷八潮線の横断状況を見極めるとともに、草加警察署の意見を参考にしながら、既設押しボタン式信号機の移設を含め、引き続き、押しボタン式信号機の設置につきまして、要望してまいりたいと考えております。

19番 森下 純三

